

競技規則（ローカルルール）

(公社)日本トライアスロン連合(JTU)競技規則 2019年改訂版及び同連合感染拡大防止対策ガイドラインを基本とし、大会ローカルルールを制定して実施します。ルールを理解して競技に参加して下さい。競技規則に違反した場合は、指導、タイムペナルティ又は失格の対象になります。

JTU 競技規則：http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf

JTU COVID-19 感染拡大防止対策ガイドライン：https://www.jtu.or.jp/national_championships/pdf/covid-19_guideline.pdf

競技全般

- スポーツマンシップを守り、マナーよく競技に参加して下さい。
危険行為・他競技者への妨害・大会スタッフへの暴言等は、失格の対象になります。
- オンライン競技説明会には、必ず参加される全ての選手(リレーは各種目)、パラデュアスロンでは、ガイドも選手と共に出席(視聴)し、ローカルルール、タイムペナルティの適用など重要事項を理解して競技に参加してください。
競技規則(ローカルルール)に変更が生じた場合は、このオンライン競技説明会での説明の内容が最終となります。
- オンライン競技説明会に出席(視聴)し、ウェブテストを受けなかった選手は出場できません。
また、大会当日の来場をお断りします。
- 体調チェックシート入力において、37.5℃以上の発熱、風邪症状が1日でもあった場合は出場できません。
- 大会当日、受付QRコードが発行されていない選手は出場できません。
- 抗原検査キットで陽性または擬陽性の方および、受付時に検査結果を写真提示できない選手は出場できません。
- 大会実行委員会は、当日の気象条件等で競技内容を変更、一部あるいは全部を中止することがあります。
- 大会日程で決められた時間を厳守してください。遅刻した場合競技に参加できなくなります。また、やむを得ずスケジュールを変更する場合があります。その場合は、大会本部より公式掲示板及び放送で告知しますのでお見逃しの無いようお願いします。
- ペナルティの適用は、大会本部の公式掲示板で告知します。
ペナルティは、違反が認められた時に審判員からイエローカード、ホイッスルなどを用いてその選手に通告します。
ただし、これが行われることを必須条件とはしません。
- 原則としてタイムペナルティの対象者には、ランコース上のペナルティボックスでペナルティを科します。
ペナルティボックス手前にペナルティボードを設置し告知しますので、選手自らペナルティボードを確認して入り、審判員にレースナンバーを告げてタイムペナルティを開始してください。審判員が「Go」と告げたら競技を再開できます。
- 計測はアンクルバンドで行います。アンクルバンドは大会当日選手受付で配布、フィニッシュ地点で回収します。
- 競技途中でリタイアする場合は、すみやかにレースナンバーカードと計測用アンクルバンドをはずし、リタイアしたことを必ず大会本部または、審判員(審判員オフィシャルウェア着用)まで届け出てアンクルバンドを返却してください。アンクルバンドを持ったまま競技コース内の通行や、計測テント付近に近寄らない様にご注意ください。
リタイアした選手は会場を離れる前に、大会本部で必ず「リタイアした理由」と「会場を離れること」を申告してください。ただし、リタイア後も競技全体が完全に終了するまで会場から出られませんのでご注意ください。
- レースナンバーカードはウェアに四隅をしっかりと留めて下さい。レースナンバーベルトも使用できます。
- レースナンバーカードは、バイク競技時には後/背側、ラン競技時には前/胸側から容易に確認できる様に使用してください。
競技中にレースナンバーがはがれている場合や、まくれ上がっている場合は、その場で静止させ留め直させる場合があります。
- レースナンバーカードの変造、折込はペナルティの対象となります。

- 携帯電話、スマートフォン等の通信機能を持つ機器、ならびにヘッドホン等のオーディオ機器の競技中の使用、競技中のビデオ又はカメラでの撮影は禁止します。失格としますのでご注意ください。
- 腕時計、心拍計測器、サイクルメーター（GPS 式を含む）の使用は認めます。（スマートフォン等の使用は禁止）
- 前開き及び前ファスナー付きウェアの使用は、ローカルルールにより許可しますが、必ずファスナーを閉じて競技をしてください。
- 各種目の制限時間をこえて競技を続行する事はできません。
- 選手以外は会場（善防中学校敷地内）に入ることができません。（無観客開催）
- 選手は必ずマスクの着用をお願いします。

バイク競技

- 折り返し地点手前と、バイクフィニッシュ前及び各交差点は追越し禁止区間です。充分減速してください。
- バイクコースは、左側を走行してください。（キープレフト）
- 追越しは、後方に注意して、声をかけてから右側から速やかに追越ししてください。追越し後は、左側を走行してください。
- ドラフティング走行は禁止します。（2 回目のドラフティング違反は失格になります）
- 周回数の質問には、お答えできません。
- ペットボトルは、落下する可能性があるのでバイクへの取付を禁止します。審判員が通告することなく撤去します。

ラン競技

- ランコースは、第 1 ランは一部車道を走ります。第 2 ランはすべて歩道を走ります。反時計廻り（左廻り）で左側通行してください。
- ランコースは、一部にガードレール内の歩道を走行します。道幅が狭い箇所は無理な追い越しをしないようにしてください。
- 一度フィニッシュした選手は、再フィニッシュしないでください。また、他の選手の応援・伴走でコースに入らないでください。
- 総合フィニッシュの前で、本人確認のためサングラスを外し、レースナンバーカードが前方から確認できる姿勢でフィニッシュゲートを通過してください。

トランジションエリア

- バイクラックに各自のレースナンバーを表示した位置（ナンバーシールを中央にして幅 90cm 以内）がその選手のスペースです。
- レースナンバーが読める側から見て手前（通路側）にハンドルがくる様に、バイクラックにサドル部分を掛けて設置してください。
- バイク、シューズ（バイクおよびラン用の各 1 足）、ヘルメットおよび支給品のトランジション袋のみ、各自のスペース内の床面に置くことができます。それ以外のは全て支給のトランジション袋に収納してください。
- 次の場合はトランジション袋に収納しなくてもよいです。
 - ・バイクに取付けたバックなどに収納する物
 - ・ヘルメット内にはみ出さない様に入れたサングラスなどの小物類
- トランジションの各自のスペースの床面に置く事が禁止される物の例
 - ・支給品のトランジション袋以外の収納用の袋やカゴ、バックなど
 - ・タオル
 - ・給水用ボトル、補給食、修理工具、予備タイヤ、サングラス、グローブなど

危険防止のため審判員の判断で撤去します。

- ヘルメットは、ストラップを外した状態で床面またはバイクハンドル上に置いてください。
- ヘルメットは、バイクラックからバイクを外す前に、被ってストラップを締めてください。
- バイクフィニッシュ後は、バイクをバイクラックに掛けてから、ヘルメットを脱いでください。
- トランジションエリア内は、バイク乗車禁止です。乗車位置まで、手で押して行ってください。
- バイク乗車ライン(青のパンチカーペット)を越えた後に完全に片足が地面についてから乗車してください。
- バイク降車ライン(赤のパンチカーペット)手前の地面に片足が完全に地面についてから降車し、バイクラックまで手で押してください。
- スタート前の選手のトランジションエリアへの立ち入りは、レースナンバーを着用しスタッフの指示に従ってください。
- 競技を終了した選手のトランジションエリアへの立ち入りは、感染症対策のため人数制限をしながら行いますのでスタッフの指示に従ってください。
- 競技終了後のバイク・荷物の引取り、持ち出し時はレースナンバーを必ず持参してスタッフの指示に従ってください。

その他

- 記録証(完走証)は、後日ウェブ(大会HP内のリンク)から入手、印刷できます。大会会場での配布はありません。
- 記録は、速報を大会会場の公式掲示板に掲示します。
公式記録表は、後日大会オフィシャルホームページ等に掲載します。
- 施設の利用は注意案内に従って行い、また、ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 貴重品は、善防中学校大会本部でお預かりします。引き取りにはレースナンバーが必要です。
- 大会当日バイクショップによるメカニックサービスを実施します。

パラデュアスロンでの追加事項

- 障がいクラス分けは、自己申告によりPTWC、PTS2、PTS3、PTS4、PTS5、PTVIの6区分とします。
- PTWC内、PTVI内の障がい程度によるタイム補正を規定に従って行います。
- ハンドラー等による支援は、規定に従い障がい程度に応じた支援が可能としますが、基本的にサポートは選手側でご用意して頂きます。その他のサポート希望等があればその内容を事前に大会事務局までご連絡ください。受入れ体制状況に応じて事務局が参加の可否を決定します。お問合せ時には、「パラトライアスロンの参加について」をご利用ください。

バイク競技

- PTWCのハンドサイクル、車椅子レーサーは、乗車ライン及び降車ラインの手前で一時停止をし、審判員の「Go」指示で再スタートして下さい。
- 全競技クラスでドラフティング走行は禁止します。PTWCの車椅子レーサーもドラフティング禁止です。

トランジションエリア

- PTWC選手は、ハンドサイクル、車椅子レーサーおよび一般車椅子用のスペースと装具置き場を設置します。
- PTS2-PTS5の選手は、1台分のバイクラックと、装具置き場、および椅子を設置します。
- PTVI選手は、選手用とガイド用の2名分の個人スペースとタンデムバイク1台分のバイクラック、および椅子を設置します。

ラン競技

- PTWC車椅子レーサー使用の選手は、ラン競技でもバイクコースを走行してください。

- 車椅子レーサー使用の選手の総合フィニッシュは、規定では車椅子レーサーの前輪軸が通過した時となりますが、アングルバンドで計測を行いますので、アングルバンドが計測マットを通過した時刻がフィニッシュとして記録されます。フィニッシュライン上では停止をせず、通過してください。
- 車椅子レーサーも他の車両へのドラフティング禁止です。
- PTS2-PTS5 の選手は、障がいの内容により規定の義足、クラッチ等の装具、補助具を使用できます。ランブレードも使用可能とします。

大会保険内容の適用について

保険内容

大会参加者が競技中^{※1}に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体に被った傷害（いわゆるケガ）、細菌性食中毒等の疾病が、保険金の支払いの対象となります。

※1 競技中とは、9月26日（日）5時から17時までの期間とします。

保険金をお支払できない事項

- 急性虚血性心疾患（心筋梗塞）、急性心不全等の心臓疾患、くも膜下出血、脳内出血等の急性虚血性脳疾患、低体温症などの疾病又は心神喪失によるケガ
（各自加入の生命保険にて対応してください）
- 故意又は重大な過失によるケガ
- 地震、噴火、津波によるケガ
- 自殺行為、犯罪行為又は闘争行為によるケガ
- 医学的他覚所見のないむちうち症又は腰痛
- 保険期間が始まる前に発病している疾病と因果関係がある場合
- 選手が使用するバイクの損害、その他選手が有する財産に対する損害
- 酒気を帯びた状態での運転または麻薬等により正常な運転ができないおそれがある状態での運転
- 妊娠、出産、早産または流産
- 戦争、外国の武力行使、暴動（テロ行為を除く）、核燃料物質等によるもの
- 外科的手術その他の医療措置

保険金額

- 死亡・後遺症傷害保険金額：事故日から180日以内に死亡又は後遺障害が生じたときは最高1,500万円を支払います。
- 入院保険金：事故日を含めて180日以内の入院日数に対し、入院1日につき5,000円を支払います。
ただし、180日を限度。
- 通院保険金：事故日を含めて180日以内の通院日数に対し、通院1日につき2,500円を支払います。
ただし90日を限度。入院保険金をお支払いすべき期間中の通院に対しては通院保険金をお支払いしません。
通院されない場合も、骨折等で部位を固定するため医師の指示によりギプス等を常時装着した際は通院とみなす。
- 手術保険金：事故日から180日以内にケガの治療のために手術を受けられた場合1事故1回限りお支払いします。
 - ① 公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている手術
 - ② 先進医療に該当する手術入院中に受けた手術の場合50,000円。外来で受けた手術の場合25,000円。一部対象外となる手術もあります。

重要注意事項

- 病院等で受診の場合、初診料を含め治療費は本人の自己負担となります。
- この保険は、治療にかかる実費とは無関係に、上記の保険金の定額で支払われます。また、軽度のケガであっても、必ず大会本部に事故の内容を報告してください。
- 大会当日に届け出がない場合、保険金請求ができませんので、ご注意ください。

保険金請求の方法

- 保険金は、ケガが治癒した後、保険会社所定の書類を添えて保険会社宛てに請求してください。